

今年も世界泌尿器内視鏡学会へ参加してきました。昨年のニューオリンズに続き本年は台北で開催されました。台北の中でも高層ビルの近くのコンベンションセンターで開催されました。台北の高層ビル周辺は再開発されたようでモダンな町並みでしたが、少し離れた裏通りは決してきれいな町とはいえませんが何となく懐かしさを感じる町でした。ランチョンセミナーのお弁当はお勧めできませんが、中華料理はやはりおいしいものが多かったです。

泌尿器科における内視鏡はダヴィンチ抜きには語れませんが、ロボット手術支援装置に関しても進化しておりました。2年前にはシングルポート用のロボットのコンセプトのみが発表されていましたが、実際のプロトタイプも出来上がっていました。これは内視鏡カメラの彎曲具合や各鉗子の形状の工夫によってなし得たものであると感じました。また腹腔鏡手術に限らずX線透視を使用する尿管結石の碎石に関するロボットも発表されておりました。医療サイドの低侵襲性にも配慮されたロボットも続々と出てくるようです。

近未来の機器を堪能して帰国してもこれまでの生活と変わることなく、前立腺癌に関してはダヴィンチを使用しておりますし、その他の腎摘除術や腎盂形成など当たり前のように腹腔鏡手術を行い、持針器で縫合結紮を行っております。また腎盂形成術においても当たり前のように透視を用いて尿管ステントを留置しています。

いつの時代か「昔は腹腔鏡下といって鉗子や鉗を直接手で持って手術をしていたらしい」や「放射線のすぐ近くでステントを入れたり石をわったりしていたらしい。危険だったよね」といわれる日がくるのでしょうか。とは言っても今の忙しさから逃れることが出来ず、未来における危険な医療行為を日々実践しています。

(近藤幸尋)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第19巻 第6号) 2014年11月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1部) 定価：本体 2,800 円 + 税 * 会員には毎号送付されます。

2014年 年間購読料：冊子版 17,650 円、電子版/個人 17,650 円、電子版/共有 20,300 円、冊子 + 電子版/個人 20,650 円、冊子 + 電子版/共有 23,300 円 (税込) (配送料：医学書院負担) * 会員には冊子版が毎号送付され、学会ホームページから電子版が閲覧できます。

編集・発行：日本内視鏡外科学会 (代表：北野正剛)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 18 階

日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1302 E-mail: jses@convention.co.jp (担当：野上)

http://www.jses.or.jp

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 18 F-1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2014, Printed in Japan

発売：(株)医学書院 (代表：金原 優) (本誌担当：水野、安部) http://www.igaku-shoin.co.jp/

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株)文京メディカル ☎ 03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

・本誌に掲載する著作物の複製権、上映権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は日本内視鏡外科学会が保有します。

・JCOPY (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

●原著

完全腹腔鏡下幽門側胃切除術に肥満、性別が及ぼす影響小野田貴信・他 KKR 斗南病院外科

●症例報告

腹腔鏡下に切除した後腹膜原発 paraganglioma の 1 例佐藤 護・他 千葉県がんセンター消化器外科

腹腔鏡補助下にイレウス解除術を行った胆石イレウスの 2 例飛鳥井 慶・他 大阪大学医学系研究科消化器外科学

腹腔鏡下大腸全摘 1 期再建・肝切除を同時に行った

横行結腸癌併発家族性大腸腺腫症の 1 例植木 隆・他 九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科
左乳房有茎腹直筋皮弁再建例に腹腔鏡下幽門側胃切除術を施行した早期胃癌の

1 例三輪高嗣・他 岡崎市民病院外科

金属製タックを用いた経腹膜外腔腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術 (TEP) 後イレウスの

1 例豊田秀一・他 原三信病院外科

●手術手技

両肺換気腹臥位食道切除の有用性と手術手順の工夫について才川大介・他 KKR 斗南病院外科

他数編の掲載を予定。但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。

Event News 掲載をご希望される方へ

関連学会・研究会の会告掲載をお受付いたします。代表者名・日時・開催会場・事務局など、必要な掲載内容を A4 判紙 1 枚にまとめ、下記「日本内視鏡外科学会雑誌」編集室までお送りください。

なお掲載料金は掲載後、日本内視鏡外科学会事務局より請求させていただきます。

掲載料金：1/2 頁 10,000 円，1 頁 20,000 円

受け付け締め切り：掲載希望号(月)の前々月 25 日まで

申込先：☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

(株)医学書院 医学雑誌部

「日本内視鏡外科学会雑誌」編集室

Tel：03-3817-5707 Fax：03-3815-7802 E-mail：jses@igaku-shoin.co.jp